

さわれない、使えない、欲しくない—お金恐怖症の男の田舎生活、果たしてどうなる!?

ジヌよさらば

～かむろば村へ～

監督・脚本・出演:松尾スズキ 主演:松田龍平

阿部サダヲ 松たか子 / 二階堂ふみ / 西田敏行

片桐はいり 中村優子 / 村杉蟬之介 伊勢志摩 オクイシュージ モロ師岡

田中仁人 宍戸美和公 近藤公園 / 荒川良々 皆川猿時

原作:いがらしみきお「かむろば村へ」小学館ビッグコミックス スペシャル刊

www.jinuyo-saraba.com

シヌ:
東北地方の方言で
「錢」お金を意味する



1円も使わないで
生きていくために
この村にきました

4.4±
全国ロードショー!

主題歌:OKAMOTO'S「ZEROMAN」

音楽:佐橋佳幸

Executive Producer:坂本雅司 Producer:武部由実子 中田由佳里
撮影:月永輝太 照明:宮尾康司 録音:古谷正志 編集:上野聡一(J.S.E.)
美術:若木浩典 装飾:大塚邦彦ヘアメイク:橋本由二 スタylist:高木里江
助監督:副島秀司 制作担当:坪内 ライン・プロデューサー:吉野美一郎
企画製作:キノフィルムズ、グリオ 制作:シネクリオ 配給:キノフィルムズ、L.I.D. Co., Ltd.
特別協力:福島県柳津町 特別協賛:福島県民報社 協賛:文化庁文化芸術振興費補助金
©2015 いがらしみきお・小学館 / 「ジヌよさらば～かむろば村へ～」製作委員会

「かむろば村」やないづへようこそ

福島県・柳津町 町の観光・物産案内!

温泉の町



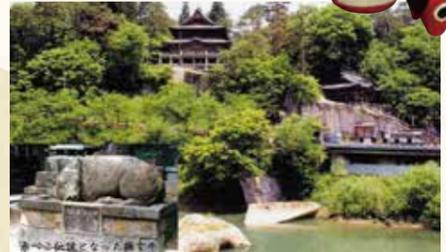
柳津温泉!

監督はじめロケ班が1ヶ月間宿泊した柳津温泉は、町なかにある温泉街。観光地が近くにあるので、町を散策したい方におススメです。



西山温泉!

大自然の中にあるお湯が自慢の西山温泉。主役の松田龍平さんは大の温泉好きで、ロケの合間に温泉を楽しんでいました。ゆっくり、のんびりしたい方におススメです。



町の中心に建つ福満虚空蔵菩薩圓蔵寺は、会津の代表玩具「赤べこ」が誕生したとされる赤べこ伝説が伝えられ、境内には大きな牛の石像が寝そべっています。役者さん達もお寺におまいりました。

耳より情報



柳津温泉、西山温泉共通の温泉手巾。
1枚1,000円で日帰り入浴が3軒分楽しめます。
お問い合わせ つきみが丘町民センター
TEL 0241-42-2302

グルメ情報



会津柳津ソースカツ丼

映画にも登場する柳津ソースカツ丼。「秘密のケンミンSHOW」に取り上げられた独特のカツ丼だ。



やないづ名物 あわまんじゅう

休日にはお店の前に行列ができるほどの人気です。



あわまんじゅう作り体験

お問い合わせ
小池菓子舗
TEL 0241-42-2554

道の駅・かむろば村コーナー



2015年4月4日 清柳苑にオープン!

映画ロケの写真や小道具などを展示した映画情報コーナーです。ロケ地めぐりの案内もしますので、ぜひお立ち寄り下さい。

お問い合わせ
道の駅会津柳津観光物産館 清柳苑
TEL 0241-42-2324

オープン記念の特典じゃ



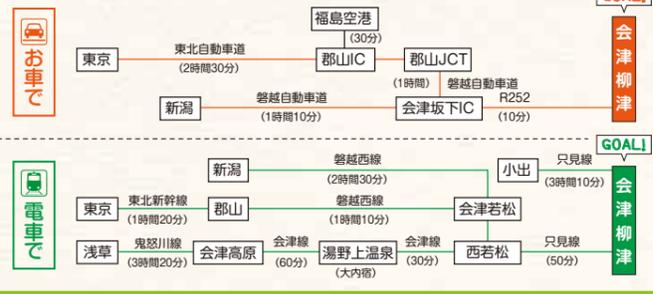
「ジヌよさらば～かむろば村へ」公開記念の特典

- 映画を観た方へ「ほでなす米」をプレゼント!(先着2,000名様)
各劇場で発行されたチケットの半券を観光物産館 清柳苑に提示すると、タケの田んぼで収穫した米1合をプレゼントします。
- 町歩きクイズ(コードF5)の参加者にジヌよさらばオリジナル缶バッジをプレゼント!
町のどこかに隠された宝箱をさがす町歩きゲームに参加すると、オリジナル缶バッジをプレゼントします。



※画像はイメージです

柳津町へのアクセス



インフォメーション

- 柳津観光協会・観光案内所
TEL 0241-42-2346 <http://aizu-yanaiizu.com/>
- 一般財団法人 やないづ振興公社
TEL 0241-42-2302 <http://yanaiizu-kousya.info/>
- 道の駅 観光物産館清柳苑
TEL 0241-42-2324 <http://yanaiizu-kousya.info/seiryu.shtml>
- 柳津町 地域振興課 観光商工班
TEL 0241-42-2114 <http://www.town.yanaiizu.fukushima.jp>



マスコットキャラクター うとちゃん

4月4日公開
ジヌよさらば
 ~かむろば村へ~

やないづロケ地MAP

柳津、
 歌にしたいほど、旅情に溢れ。
 柳津、
 でも、その歌が頭にまったく浮かんでこないほど、自然に見とれてしまう。
 映画『ジヌよさらば』監督 松尾スズキ



① 圓蔵寺と赤い橋

映画の冒頭に映し出される円形の赤い橋は、「やないづ=赤い橋」として町のシンボルになっている。同じ形の橋が2本只見川にかかっており、両方の橋から赤べこ発祥の寺「福満虚空蔵菩薩圓蔵寺」が絶好のポジションで見ることが出来る。夏には川霧が見られ、奥会津へと人を誘う幻想的な風景となる。



⑪ ほでなす号(つきみが丘町民センター)



主人公タケがネーミングライツを購入して命名した「ほでなす号」は、村長の与三郎がみずから運転して村人たちを運搬するバス。現在でもそのままの姿でつきみが丘町民センター前に停車し、時々お客さん達を運送している。またこの施設は、キャストさんの支度場所としても使われた所だ。

⑨ 多治見が逃げ込む畑



多治見が与三郎に追われて、草むらへ落ちるシーンの場所は、ロケに多く使われた久保田集落の中心部、久保田小学校下の畑にある。この場所を中心に歩ける距離で色々なシーンのロケポイントが点在しており、それぞれの案内看板を見て巡ってほしい場所だ。

⑩ 伊佐旅館(旅館 中の湯)

美しいなかめっさんの娘「奈津」が経営する温泉宿「伊佐旅館」のロケ地として使われた旅館中の湯は、なかめっさんの秘湯おんごる温泉を想わせる。大自然の中で三つの源泉を持つ湯量豊富な宿だ。偶然にもこの西山温泉は古から「神の隠れ湯」とも呼ばれている。



⑤ レストラン(キッチン・ノエル)



与三郎のかつての恋人佐知子と、多治見、晴男の繋がりがあがるらしい...

⑦ 武晴の田んぼ



武晴が借りて、みよんつあんから田植えの指導を受ける田んぼは、美しい畑の一番下にある。実際に武晴の家から歩いていける距離にあり、田んぼから見た風景は劇中の「かむろば村」の映像と同じ景色が楽しめる。

⑧ 武晴の家



東京を離れた武晴が100万円で買った新マイホーム。家の前には小さな畑と池までついていてお買い得商品だ。新緑につつまれた家の前で青葉ちゃんと仲良く畑仕事をするシーンは優しく、ほのぼのとした雰囲気がかもしだしている。

⑥ 久保田三十三観音山



主人公「武晴」の住まいとされた久保田地区には小高い丘があり、三十九体の石像を安置した「観音山」がある。毎年4月29日には「久保田三十三観音まつり」が村人たちにより催される。

④ ゲートボール場(スパークやないづ)



かむろば村の元気な高齢者が集まってゲートボール大会が行われた場所は、本物のゲートボール場。本来ならボールを打つはずのスティックが村長と青木のひと悶着で振り回されるシーンは印象的だ。

③ かむろば村役場(柳津町商工会)



役場の前ではほでなす号のネーミングライツや、伊吉への青砥議員の選挙演説がくりひろげられた場所。役場内としての撮影やタケが自分の金を使えと交渉するおもしろシーンもこの中で撮られた。

村長、天野与三郎の経営するスーパーあまの。映画の中に何度も登場するおなじみの場所。撮影のために作られた店の看板は、撮影終了後もそのまま残されている。店の窓に記された撮影スタッフの寄せ書きは必見です。

② スーパーあまの(コンビニエンス河内屋)



会津若松から、ゴトゴトとディーゼルカーで1時間。列車の旅をどうぞ！隣の「会津坂下駅」の駅前も、ロケに使われました。

五畳敷
 せいざん荘
 至昭和村
 西山地熱発電所

